

ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

企画展示室で7月から開催中の前期収蔵作品展の会期は夏休み期間が含まれていたため、ご家族で楽しめるように動物作品の展示数を多くしました。ウランガラスの動物作品は以前の展覧会に参加していただいた数名の作家による作品です。

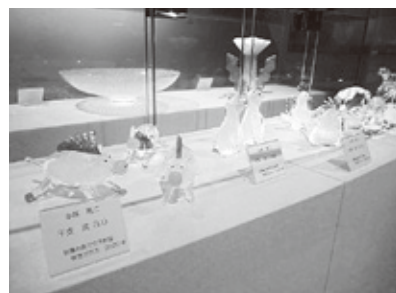
動物作品は作家によって可愛い作風だったり、リアルな造形だったり個性豊かで、昨年制作していただいたウランガラスの干支作品も展示しています。

干支作品の内、子（ネズミ）～巳（ヘビ）は壁面展示ケースの中で光らせて展示しています。午（ウマ）～亥（イノシシ）は展示室中央のガラスケースに入れて、普通のライトを当てて光らせずに展示しています。同じ干支でも光っている作品とそうでない作品で違いが分かるように2か所に分けて展示してみました。ご来館の際には両方見比べて、違いを確かめながら楽しんでいただければと思います。

前期収蔵作品展は10月4日(月)まで開催しています。



紫外線で蛍光している干支作品(子～巳)



光っていない干支作品(午～亥)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 **電話** (0868) 44-7888

奥津歴史資料館令和3年度企画展 日笠大二コレクション展3 『昭和の箸袋の世界』

奥津歴史資料館では、令和3年度企画展を開催中です。

今回は、元奥津町長の故日笠大二氏が収集していた割箸の袋を展示しています。

日笠氏の箸袋コレクションは、昭和30年代～平成初期頃まで、のべ2,800点以上収集されています。そのうち、町内や県内の旅館・店舗を中心に全国の箸袋約300点を展示いたします。今はなくなった町内や津山市内のお店の箸袋も多数展示していますので、当時を知る方には懐かしさを感じられるかもしれません。

是非ご来館下さい。

奥津歴史資料館 鏡野町奥津82-1 (奥津温泉街北端)
電話 (0868) 52-0888

開館時間：午前9時～午後4時30分

会 期：令和4年3月27日(日)まで (予定)

休 館 日：毎週月曜日・祝日の翌日

入 館 料：無料

主 催：鏡野町教育委員会・NPO法人てっちりこ



お問い合わせ先：鏡野町生涯学習課 担当：日下 **電話** (0868) 54-7733